

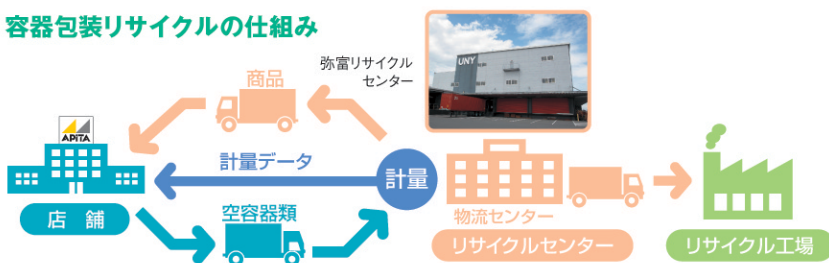
2 使った後の容器包装を廃棄物にしない取り組み

▶ リサイクルセンターに集約

リサイクル回収の輸送にかかるエネルギーやCO₂の排出などが問題にされることがあります。ユニーでは、店舗から配送センター内のリサイクルセンターに搬送する際に、商品物流便の帰り便を使うことにより、無駄な燃料やCO₂排出削減に努めています（現在、北陸地区・中京地区の配送センターにリサイクルセンターを設置。その他の地区は店舗から直接リサイクル工場へ搬入しています）。

リサイクルセンターでは、各店舗から回収した使用済み容器を計量し効率的に搬送しやすいように圧縮し、それぞれのリサイクル工場へ搬出します。

容器包装リサイクルの仕組み



計量システム



各店舗からリサイクル資源が到着します。

袋に貼られた店舗コードを読みとり、店舗ごとの重さを量ります。



計量したデータはユニー本部へフィードバックします。
※計量システムは、中京本部で実施

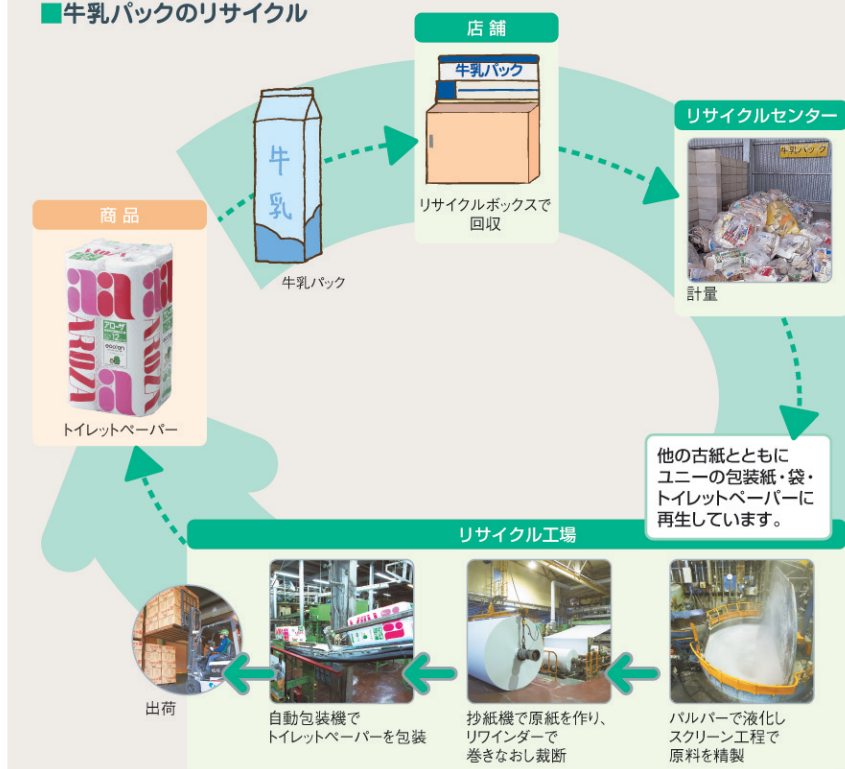


▶ リサイクルボックスによる容器回収

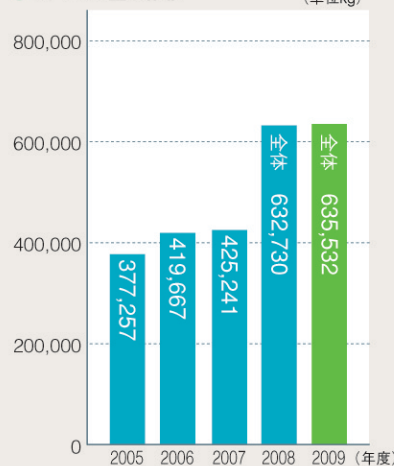
家庭から排出されるゴミの60%が製品の容器包装です。お客様が店舗で製品を購入後、家庭に持ち帰って製品を取り出した後の容器包装は、ゴミとして捨ててしまうと廃棄物になってしまいます。ユニーは、使用済み容器包装を店頭のリサイクルボックスで回収し、再生資源として製品の原料にリサイクルしています。これはお客様と一緒に進める「循環型社会」構築のための取り組みです。お客様にリサイクルの仕組みを理解していただくために、各店舗で回収した実績を毎月集計し、店頭のポスターで公表したり、リサイクルの流れやリサイクル製品を分かりやすく説明したポスターを掲示しています。



■牛乳パックのリサイクル



●リサイクル量の推移 (単位kg)



●参加店舗数と参加率の推移

年度	参加店舗	食品取扱店舗	参加率 (%)
2005	138	140	98.6
2006	142	142	100.0
2007	142	142	100.0
2008	220	224	98.2
2009	223	223	100.0